

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 苅田工業 高等学校



<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>・地域と共に協働し、地域社会の未来を牽引できる工業人を育成する学校: 苅田町をはじめとした地元地域や企業、大学等と連携したものづくり教育を通して、地域を愛する気持ちや、工業人として地域社会の未来を牽引していく人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなことを創造し、探究する力の育成 ・地域産業を支えるものづくりの知識や技術の育成 ・規範意識と自らの行動を律する力の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けた資格取得と実体験を重視した教育活動の推進 ・高度熟練者による実践的な実習の推進 ・高大連携による専門性の高い学びの推進 ・地域や地元企業と協働し、ものづくり事業の連携強化の推進
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに興味や関心がある生徒 ・工業の資格や検定取得、技術や知識を活かした仕事に就きたい生徒 ・地域社会の発展に貢献するボランティア精神がある生徒

学校運営計画(4月)

学校運営方針	「チーム苅工」として教育活動を展開し、志と自立心・思いやりの心溢れ、グローバルな感覚をもち、未来の地域産業を支えるものづくりのスペシャリストを育成する。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>昨年の成果として、ものづくりを通して培われた技術・技能を發揮し、全国大会に出場したマイコンカーラリー・レスリング部・陸上部・情報科学部など、生徒主体の教育活動が展開できるようになった。</p>	<p>一人一人の人権が尊重される安全・安心な学校づくりの推進と思いやりの心の醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアル等の改善を図り、危機管理意識の向上と対応能力を高める。 ・悩みやいじめの早期発見・早期対応による安心な学校環境づくりを推進する。 ・人権・同和教育、薬物乱用防止教育及び命の教育を推進する。 ・豊かな心の涵養を目指した学校行事等の充実を図る。 	
<p>今年も、エコデンレースin苅田や苅田町イルミネーション事業に代表される地域との連携に加え、「チーム苅工」としての教育活動をさらに発展・充実させ、地域に開かれた魅力ある学校づくりと本校のブランド化を図る。確かな学力を育成するとともに、規範意識や危機管理意識の向上による安全で安心な学校づくり、5Sの徹底、行事を通して育む豊かな心と思いやりの精神など、工業人としての資質の向上とコミュニケーション能力の育成を図る。また、「社会に開かれた教育課程」の視点に立った地域の人的・物的資源の活用など、社会教育との連携を深めることでもたらされる実体験を重視したキャリア教育の推進を図る。</p>	<p>「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた主体的・対話的で深い学びの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心と創造力を喚起するICT等を活用した学習活動の推進を図る。 ・「ものづくり」への興味関心を育てる工業教育を推進する。 ・新しい教育課程の円滑な実施と目標に準拠した観点別評価の定着を図る。 ・朝読書と運動した授業規律の確立を図る。 	
	<p>自主自立・規範意識の向上・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶」「服装」「時間厳守」等、基本的生活習慣の確立を図る。 ・積極的な生徒指導により規範意識の向上を図る。 ・部活動、生徒会活動等の活性化による自主・自立、母校愛と共同の精神の涵養を図る。 ・5S徹底による工業人としての資質の向上とコミュニケーション能力の育成を図る。 	
	<p>キャリア教育の推進とグローバルな感覚をもった地域に根ざした人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得推進と進路マップによる進路意識の醸成を図る。 ・インターンシップ等、「産業人材育成事業」を活用した体験教育の推進を図る。 ・生徒自身の特性を活かせる進路希望の実現を図る。 ・グローバルな感覚を育成するための教育活動を展開する。 	
	<p>地域に開かれた魅力ある学校づくりとブランド化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ものづくり」を通じた地域貢献事業の推進と創造力の育成を図る。 ・地域・中学生・保護者への学校情報の積極的で効果的な発信を行う。 ・地域のボランティア活動への積極的な参加を推進する。 ・地域連携を活かしたブランド化の構築を推進する。 	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部 教務課	授業規律の遵守・授業改善と工業教育やものづくりへの興味関心をもてる態度の育成	ICTを活用して効果的な学習指導を工夫し、授業改善に繋げる。 定期考査に頼らない評価方法により、生徒を多面的に評価し、個性の伸長と学力向上を図る。 ICTを活用して「ものづくり」や工業教育における基礎学力の重要性を理解させる。	学習アンケート	
	主体的・対話的で深い学びの推進と主体的に学習に取り組む態度の育成	校務支援システムの効果的な活用を推進し、教職員が有意義な学習指導を行える体制を推進する。 ICTを利用して主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導をする。 教員相互間の研究授業、公開授業週間への参観を促し、学びの質を高めるための授業改善を推進する。	学習アンケート	
教務部 教育情報課	ICT機器等を活用した学習活動の推進	一人一台端末の体制整備を進めて活用できるようにする。 職員・生徒全員がタブレットを授業等において有効活用を促す。 校内ネットワーク環境の安定的な運用を図る。	学習アンケート	
	校務支援システムの有効活用	他の分掌や科、学年と協力し校務支援システムを有効活用する。 各分掌で作成されたデータを、一元管理する環境を整備する。 校務支援システムを用いて、教育活動の効率化を図る。	学習アンケート	
生徒指導部 生徒指導課	基本的な生活習慣の確立を図る	身だしなみ指導を継続的に行う。 「挨拶」「服装」「時間厳守」等の徹底を図る。 毎月の学校生活アンケートを確実にを行い、いじめ早期発見・対応を図る。	学校生活アンケート	
	生徒会・委員会活動・部活動の活性化を図る	生徒会役員の育成を図り、学校行事の充実に努める。 部活の活動状況や生徒の頑張りを地域や企業にPRする。 各種委員会、リーダーの育成を行い他の生徒の模範となるよう自覚を促す。	学校生活アンケート	
生徒指導部 保健課	安全管理の徹底	既往症を把握し、スムーズな対応ができるようする。 生徒の実態を教員間でも把握することで、欠席や遅刻等を減らすように促す。 規則正しい習慣を身に付けさせ、自立心を養えるよう促す。	保健アンケート 検診関係アンケート	
	多様性に配慮した態度の育成	保健だよりを定期的に発行し、感染症等の早期対応の指導を行う。 性と心の健康相談事業を通して、多様性に配慮できるよう理解させる。 様々な外部機関があることを再認識させ、報道相をしやすい環境作りの強化を図る。	性教育アンケート	
キャリア教育部 進路指導課	キャリア意識の向上	地元企業見学・インターンシップなどを通し就職の意識向上を図る。 企業・OB講話・適職セミナー・進路ガイダンスの招聘事業の実施。 オープンキャンパス・公務員ガイダンスへの参加と関係機関との連携。	企業アンケート	
	進路希望の実現	企業・大学の情報共有を行いミスマッチのない進路選択を促す。 進路決定に向け基礎学力向上を目指し学年と連携する。 進学希望者への学力向上支援体制の強化を図る。	進路希望アンケート	
企画・広報課	学校情報の積極的で効果的な発信	学校行事や部活動の大会報告等のHPの更新を迅速に行う。 学校案内、苅工新聞を作成し、幅広く学校をPRする。 中学校訪問、体験入学で学校について詳しく知ってもらうようにする。	新入生アンケート 中学生アンケート	
	学校行事等の円滑な企画運営	各科や分掌との連携を図り、学校ポータルを活用する。 学校行事などを来年度円滑にできるように記録を残す。 1学期に避難訓練を計画、実施し、防災意識を高める。	職員アンケート	

様式3

研修課	学びの質を向上させるための授業改善の推進	研究授業の充実と研究協議の活性化を図る。	生徒アンケート	
		公開講座の広報徹底と講座内容の充実を図る。		
		ICT機器の活用頻度をあげる。		
1学年	効果的な校内・校外研修の企画・運営	効果的な若年者研修の企画・運営。	職員アンケート	
		喫緊の課題に直結した職員研修の企画・運営。		
		キャリアアップ講座等の職員研修の積極的な紹介および参加への働きかけを図る。		
1学年	凡事徹底	授業規律を徹底し基礎学力の定着を図り、提出物や課題等の期限を厳守させる。	学年アンケート	
		挨拶を励行するとともに、欠席・遅刻指導を徹底し、皆勤を目指す。		
		委員会等の役割を意識しながら学校行事に積極的に参加させる。		
1学年	進路意識の育成と情報共有	各種資格試験、適性検査や工場見学を活用し、将来について考えさせる。	学年アンケート	
		適宜個人面談を実施し、生徒理解を深める。		
		適宜学年会議を行い、生徒の情報共有を図る。		
2学年	社会人基礎力の育成	目標の設定・計画、そして結果をリフレクションさせる。	学年アンケート	
		基本的な生活習慣を身に付けさせ、出席皆勤を目指す。		
		主体性を発揮しやすい環境を作り、自発的に行動させる。		
2学年	安心安全な学級経営	学校生活アンケートを有効活用し、不登校を未然に防止する。	学校生活アンケート いじめアンケート	
		いじめアンケートを有効活用し、いじめを早期に発見する。		
		定期的に学年会議を行い、情報を共有し複数人で課題を解決する。		
3学年	社会人基礎力3つの能力の育成	「挨拶」「服装」「時間厳守」等、基本的な生活習慣の確立を図る。	学年アンケート	
		主体性、発信力、創造力を養うために行事などで自発的に行動させる。		
		HRの時間を活用し、積極的な生徒指導により規範意識の向上を図る。		
3学年	希望進路の実現	早い段階から履歴書を活用して資格試験の意欲向上や進路への意識を向上させる。	学年アンケート	
		個人面談を通じて、希望進路の実現を図る。		
		進路ガイダンスや進路学習を行い、将来について考えさせる。		
機械科	ものづくりの技術の向上と資格取得の奨励、安全教育の徹底	5Sを徹底し、安全管理意識の向上を目指す。	ものづくりフェア ものづくりコンテスト	
		危険を予知し、不安全行動を防止することで事故を防ぐ		
		各種の競技大会に参加することで、より高いレベルの技術・技能を身に付けさせる。		
機械科	地域や産業界に必要とされる中堅技術者の育成	ものづくり教室や出前授業などを積極的に行い、地域に開かれた科を目指す。	体験入学	
		実践的教育活動を充実させ、産業界に必要とされる中堅技術者の育成を目指す。		
		体験入学やものづくり教室などで、ものづくりの楽しさを知ってもらおう。		
電気科	資格取得による専門知識の向上と実践的な技術を習得したグローバルに活躍できる中堅電気技術者の育成を目指す	電気の基礎基本を学ばせるとともに、実践的な技術を身に付けた中堅電気技術者の育成を目指す。	体験入学	
		多くの資格取得等を通じて、進路意識の高揚と自己実現を目指す。		
		生徒全員が第2種電気工事士の取得を目指して、学習活動を展開していく。		
電気科	安全教育の徹底と地域との連携を深める活動の推進	5Sを徹底し、安全管理意識の向上を目指す。	ものづくりフェア ものづくりコンテスト	
		高大連携や地域電気工事組合との連携によるものづくり技術の伝承を図る。		
		地域に密着した活動(エコデンレース等)を推進し、連携を深める。		
情報技術科	基礎的な技術・技能の向上及び進路実現できる資質向上	資格取得等を通じて、進路意識の高揚と自己実現を目指す。	体験入学	
		グローバルに活躍できる技術者を育成する。		
		基礎的な学力、技術・技能の向上を図る。		
情報技術科	地域に根付いた情報及び電気・電子系技術者の育成	半導体人材育成事業等を通じて、実践的な技術を高める。	ものづくりフェア ものづくりコンテスト	
		「ものづくり」を通して、地域貢献に取り組む。		
		ものづくりコンテストや各種大会に挑戦することで、実践力を養う。		